



横浜なみきりハビリテーション病院 広報誌

～ 頼り頼られる病院を目指して～

あ と り



contents

- ◆ 言語聴覚士の仕事
- ◆ 日々進化するリハビリ
～リハビリ科インタビュー～



言語聴覚士の仕事



言語聴覚士 松本さん

リハビリを行うセラピストの中でも喉の動きや、言葉を発するための筋肉を訓練する知識を持つ「言語聴覚士」。彼らがどのような取り組みをしているかのぞいてみましょう。



言語聴覚士 下島さん

言語聴覚士が対応するのは脳卒中をはじめとした廃用症候群と呼ばれる病気を持つ患者様、パーキンソン病をはじめとする神経難病の患者様が少なくありません。失語、構音障害（声を出しにくくなる障害）、摂食・嚥下障害、高次脳機能障害などは専門分野です。これらの障害に対して、訓練を行うことで機能を取り戻すお手伝いをしています。

言語聴覚士は患者様と接する際、観察や検査の内容からそれぞれの状態に合った訓練プログラムを作成するところから始めます。言語障害の方の例を挙げれば、言葉を発する練習はもちろん、言語以外の手段でコミュニケーションを取る方法をご案内します。職場復帰を目指される方であれば場面に応じた応用訓練を行うこともあります。

摂食・嚥下障害の方は食形態の調整や飲み込みの練習、退院後の食事の注意点についても指導を行います。必要に応じた嚥下造影検査も行っています。

高次脳機能障害の方には症状に合わせた課題や、実際の動作場面に入っていきます。ご本人だけでなく、必要に応じてご家族にも協力を頂くことがあります。

言語聴覚士は様々な道具を使って訓練を行っています。絵カードは絵を認識して発語する訓練に使用し、発音については IC レコーダーを使うこともあります。最近ではタブレット端末を用いた訓練があり、動画を用いて歌を歌ったり、発音の訓練を行います。摂食・嚥下障害の方は低周波治療器を用いて喉の周辺の筋肉を動かす訓練を行うことができます。

当院の言語聴覚士は 26 人と多く、経験年数も豊富です。スタッフ間のコミュニケーションがよく、醸し出される雰囲気は患者様にも伝わり、回復の一助となるように努力を重ねています。



ジェントルスティム



バイタルスティム



タブレット

日々進化するリハビリ ～リハビリ科インタビュー～



廣瀬科長

Q 廣瀬科長はリハビリ科の所属長として勤務されていますが、スタッフは何人になりますか。

A 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で合わせて121名になります。(1月1日時点)

Q ご自身から見て、スタッフの特徴はありますか。

A ベテランから若手まで幅広いセラピストが在席していますね。それぞれが明るい雰囲気です。コミュニケーションやチームワークは重視している部分です。

Q 近隣のリハビリを専門とする病院の中でも規模が大きいですが、地域から求められる役割とはどのようなものでしょうか。

A 病棟の患者様はもちろん、在宅部門にも参加して各部門がチームで患者様のニーズに応えられる体制を取っています。対象となる地域も広いですし、求められる役割も多岐に渡ると考えています。



Q 最近の取り組みではどんなものがありますか。

A 麻痺側上下肢に対して電気治療機器を使用し、機能の改善を図っています。また、在宅の方の嚥下機能（食事を飲みくたす能力）を評価するために造影検査を広く受け入れています。当院には広々としたガーデンがあり、「一般社団法人はつぷ」さんとのコラボで本格的な園芸療法を実施しています。季節ごとの植物を育てるなど楽しみながらリハビリに取り組まれています。

Q 今後、なみきが目指すリハビリとはどのようなものでしょうか。

A リハビリテーションは日々進化しています。新しい知識や技術を取り入れて、より効果的なリハビリテーションが提供できるように努力しております。そして、楽しみの要素も大切にしています。「笑顔は人を幸せにする」をモットーに患者様の興味や趣味、価値観などを考慮したアプローチを追求していきます。

Q 最後に、受診される方へメッセージをどうぞ。

A なみきでリハビリを受けてよかったと思って頂けるようスタッフ皆で努力していきます！

横浜なみきりハビリテーション病院 送迎車時刻表

京急富岡駅発 病院行	
時間	平日(月~土)
6	40
7	02 12 22 36 44 48 56
8	04 12 20 28 36 44 52
9	02 14 25 38 50
10	10 30 50
11	10 30 50
12	10 30 50
13	05 20 35 50
14	05 20 35 50
15	15 35 55
16	05 17 29 41 53
17	05 15 25 35 45 55
18	05 15 25 35 45 55
19	05 15 25 35 45 55
20	05

病院発 京急富岡駅行	
時間	平日(月~土)
6	
7	04 14 28 32 40 48 56
8	04 12 20 28 36 44 54
9	06 17 30 42 54
10	07 22 42
11	02 22 42
12	02 22 42 57
13	12 27 42 57
14	12 27 42
15	07 27 47
16	09 21 33 45 57
17	07 17 27 37 47 57
18	07 17 27 37 47 57
19	07 17 27 37 47 57
20	07 15

*交通事情により、定刻通りの運行ができない場合があります。
*日曜日・祝日は運休です。

H28.5.2現在



あとなぎ

早いもので、2018年1月に創刊した『あとりに』も2年目を迎えました。「集団で生活する鳥」が語源である花鶏(あとりに)と同じように、コミュニティをつくる皆様とともにありたい。そんな願いが紙面のひとつひとつにかたどられています。これからもますます役立つ情報を提供していきたいと思っておりますのであとりにをよろしくお願ひいたします。

横浜なみきりハビリテーション病院 理念

「頼り頼られる病院」

- 1、良質なリハビリテーションの提供で在宅復帰と生活の質向上を支援します。
- 2、専門職によるチーム医療の提供で満足度の高い医療提供を行います。
- 3、地域に開かれ、地域に支えられる存在になるように努めます。
- 4、職員が誇りと責任を持って働ける職場づくりを行います。

広報誌「あとりに」2020.02 vol.03

発行：横浜なみきりハビリテーション病院
編集：鈴木 佑一郎
〒236-0005
神奈川県横浜市金沢区並木2丁目8番1号
TEL. 045-788-0031 FAX. 045-788-0032
e-mail:hosp@ynrh.jp
(ホームページ) <http://www.ynrh.jp>

